

## 理念及び目標（案）

### 1 . 理念

「地球環境の保全と持続可能な開発のためのパートナーシップの構築」

（考え方）

- ・ 人々の生活を支える地球環境の保全、持続可能な開発の実現は全世界共通の課題である。
- ・ そのためには、まず、先進国、開発途上国を問わず全ての国の自主性（オーナーシップ）に基づく取組が不可欠であり、さらに、それを前提として、国際社会による協働（パートナーシップ）が必要。この点は 2002 年の WSSD においても再確認されている。

## 2 . 目標（資料 5 参照）

「地球環境の保全と持続可能な開発を考えた環境管理システムの改善：特に東アジアを中心として」

（考え方）

- ・ 目標は、今後 10 年程度の期間を見通した上で、その期間の最後に達成しているべきものとする。
- ・ 環境管理システムとは、環境の状況に関する情報やデータを収集・分析し、何が問題となっているのかを把握し、環境問題解決のための対策を立案するとともに、必要な制度や組織を整備し、政府、地方公共団体、企業、NGO / NPO、地域社会、個人など社会の様々な関係主体の参加協力の下で対策を実施していくこと。
- ・ 環境対策の実施状況をモニタリングし、その結果の評価を次の対策の立案実施に活かしていくことも含まれる。
- ・ 環境管理システムの改善とは、このような情報・データの収集・分析能力が向上し、必要な制度や組織が整備され、効果的な環境対策が実施されていくこと。
- ・ 上記理念の達成に向けて、効果的に国際環境協力を推進するためには、重点的な目標を設定して、我が国の限られた資源を効果的に投入する必要がある。
- ・ 重点化する対象地域としては、アジア太平洋地域（特に東アジア地域）とする。
- ・ 将来の東アジア環境共同体の構築に向けて、関係国のパートナーシップの下で、東アジアとしての環境管理システムをできるところから改善していく必要がある。